

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	教育心理学				
担当者氏名	山田 義則				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-4 発達の深い理解				

《授業の概要》

本授業は、人間の発達や学習を学び、教育の実践や問題解決に生かす基礎的な力を身につけることを目標とします。具体的には、①教育心理学の用語や理論・方法論などの知識を理解し修得する、②認知や社会性も含めた心身の発達と教授・学習・記憶の過程や仕組みを理解する、③発達・学習・動機づけ・集団づくり等を踏まえた学習指導と評価を考えることができるようになることです。

《授業の到達目標》

本授業の到達目標は以下のとおりです。

1. 幼児・児童の心身の発達に対する外的及び内的要因、発達の概念を理解できる。
2. 幼児期から青年期の言語発達・認知発達・社会性の発達についてその内容を理解できる。
3. 様々な学習の形態やその過程を説明する代表的理論の基礎を理解できる。
4. 主体的学習を支える動機づけ・集団作り・学習評価のあり方について理解できる。

《成績評価の方法》

- 試験 : 50%
- 提出物(「ワーク等」) : 50%

⇒提出物については、各回提出期限を設けているので、期限内に必ず提出することが必要です。その提出回数が、提出すべき回数の2/3を越えて提出することが評価には必須です。

《テキスト》

適宜、資料を配布します。

《参考図書》

「教職課程コアカリキュラムに対応した教育心理学」守一雄著  
松本大学出版会

《授業時間外学習》

講義の復習をしましょう。  
ワーク等による課題を期限までに提出しましょう。  
学習への興味関心を持つために、日頃より本授業に関わる情報を収集し、整理しましょう。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション ～ 教育心理学とは… ～
2	発達	人が発達するときに、影響を及ぼすものについて知る。
3	乳幼児期の発達	発達って何だろう、道筋はどうなるだろうについて理解する。
4	児童期の発達	認知能力と社会性の発達について知る。
5	青年期の心理	思春期の身体的・心理的な発達について知る。
6	学習	スキナーやオズベル・ブルナー学習の理論について学ぶ。
7	言語・記憶・思考	教育現場における言語の果たす役割に関する記憶や思考の方法について学ぶ。
8	知能	知能を構成する要素やその変化について知る。
9	自己効力感と教育	主体的に学習する方法、学習の計画段階や遂行段階で必要な自己効力感、自己肯定感について学ぶ。
10	動機づけと教育	動機づけの動因と誘因、外発的な・内発的動機について知る。
11	教育における評価 (1)	教育評価の在り方・考え方について知る。
12	教育における評価 (2)	教育評価の方法について学習する。
13	社会性と道徳	ゲーム理論や進化心理学の立場から、人の道徳や社会性について知る。
14	個性や個人差	個性や個人差について知り、学習支援への活かし方について学習する。
15	まとめ 学習内容全体の確認	今まで学んだことを振り返る。総括試験。